



高校生と地域住民との交わりが生まれる場所が誕生



住民との交流などに活用できるスペースも

飯南高校生の学びと地域の活力が育まれる場として整備を進めてきた「飯南町滞在型地域交流拠点施設(愛称三日市NODE)」が三日市連坦地内に完成し、竣工記念式典を執り行いました。

式典には、飯南高校魅力化の関係者や建設業者などが出席し、新たな施設の完成を祝いました。併せて内覧会も行い、多数の地域住民が施設内部を見学しました。

令和8年4月から運用し、飯南高校のさらなる魅力向上を図る場として活用していきます。

三日市NODE 竣工記念式典

12月22日月



町産材をふんだんに使用したぬくもりを感じる屋内



活発な意見交換が行われました

本町の今後の保育環境を検討する「飯南町保育所あり方検討委員会」の第2回を開催しました。

この委員会は、6月に飯南町社会福祉協議会から提出された要望書に基づき、本町にふさわしい保育環境を検討するために設置。11月に開催した第1回の委員会では、保育士確保が困難であること、児童数の減少、保育施設の老朽化などの現状と課題を説明しました。

今回の委員会では、保育所を取り巻く状況の中で、保育所設置数を優先して協議すべきではなどの意見が出ました。

保育所あり方 検討委員会を実施

12月22日月



団長を筆頭に街頭行進

令和8年消防出初式を、頓原地区で開催し、148人の消防団員が出動しました。

屋外行事では、町長に出動人員を報告し、昇格者・任命者に辞令を交付。その後、沿道の皆さんの声援を受けながら、分団ごとに隊列を組み、頓原連坦地を力強く行進しました。

頓原農村環境改善センターみせんで行われた式典では、各種表彰などが行われ、深石賢一団長は、「団員諸君には防災を意識し、事故や災害のない一年になるようお願いしたい」と訓辭を述べました。

飯南町 消防出初式

1月11日日

まちの観光施設である琴引フォレストパークスキー場で、安全祈願祭が執り行われました。

12月19日(金)の今シーズンの営業開始に合わせて、スキー場の安全な運営を祈願。スキー場を運営する(株)飯南トータルサポートの正木喜代隆代表取締役社長は「よいよスキーシーズンの幕開け。スタッフ一同、安全第一を目指して運営していきたい」と話しました。

今シーズンから、リフト券がICカードとなり、カードをゲートにかざすと通過できる自動改札式に変更。スマートリフトへの乗車が可能となつたことで、利便性が向上し、スキー客に安心して楽しんでいただける環境が整いました。



ICカードをかざすだけでリフトへの乗車が可能に



安全なスキー場運営と多くの来場者を期待し祈願

12月16日火

琴引フォレストパークスキー場 安全祈願祭

12月16日火

ふるさと シンポジウムを開催

12月18日木

小中高の児童生徒が飯南町について学んだ成果を発表する「飯南町ふるさとシンポジウム」を来島交流センターで開催しました。

今年度は志々小・赤名小・頓原中・飯南高の代表者が「ふるさと教育」や「生命地域学」で取り組んだ成果を発表し、町長が講評を行いました。発表後は、少人数のグループに分かれ、飯南町の未来や自分たちにできることを話し合いました。

このシンポジウムで児童生徒の交流が深まり、飯南町のことを考えるきっかけとなることを期待しています。



大勢の前で堂々と発表(赤名小)

小中高の児童生徒が飯南町について学んだ成果を発表する「飯南町ふるさとシンポジウム」を来島交流センターで開催しました。

今年度は志々小・赤名小・頓原中・飯南高の代表者が「ふるさと教育」や「生命地域学」で取り組んだ成果を発表し、町長が講評を行いました。発表後は、少人数のグループに分かれ、飯南町の未来や自分たちにできることを話し合いました。

このシンポジウムで児童生徒の交流が深まり、飯南町のことを考えるきっかけとなることを期待しています。

統計調査員としての功績により、加藤恭司さん(谷)に知事感謝状が授与されました。

加藤さんは平成12年から10度、統計調査員として各種統計調査に従事。統計調査の重要性を認識し、意欲的な取組姿勢と正確な業務が評価されました。

加藤さんは「感謝状を受け取り大変嬉しく、最初に国勢調査に携わった時を思い出した。地域の皆さんのご協力に感謝しています」と話しました。



島根県で行われた表彰式で知事と記念撮影

おめでとうございます 加藤恭司さんに 知事感謝状

12月18日木